

パノラマエックス線撮影を受けられる方へ

画像診断・エックス線診断／写真診断および撮影

パノラマエックス線撮影とは

歯を含んだあごの骨全体を映します。

この撮影の主な目的は歯周病（歯槽膿漏^{のうろう}）、のう胞、炎症、腫瘍、唾石、骨折などの診断をする場合に用いられます。

撮影は立位または座位で行い、撮影中は顔の周りを装置が回転します。

呼吸を止めていただく必要はありませんが、じっとしていただく必要があります。



検査の様子

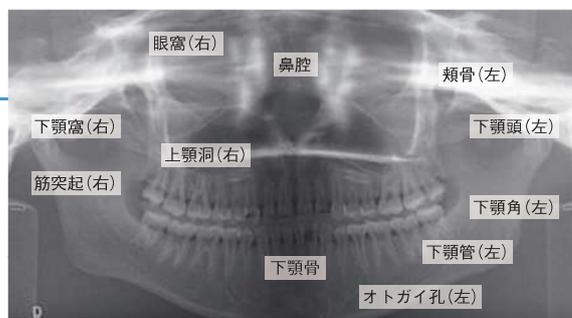
撮影にかかる時間

撮影は、2～3分で終了いたします。

この内、動かないでいただく時間は10秒程度です。

撮影の注意点

診断の障害になってしまうことから、取り外しのできる入れ歯は外していただきます。また、ネックレス、イヤリング、ピアス、ヘアピン、ヘアゴム（金属のついているもの）などもお外していただきます。担当の診療放射線技師の指示に従ってください。



禁忌事項:

- ✓ じっとしてられない方（特に口の静止が難しい方）は、撮影が難しい場合があります。他の撮影方法に変更する場合がありますので、担当の医師または、診療放射線技師にご相談ください。

検査前

特に注意していただくことはありません。首から上の部分で外せる金属は、すべて外していただきます。

検査中

顔の周りを装置が回りますが、ご自身は動かないようにお願いします。特に口は動かさないようにお願いいたします。

撮影後

特にありません。取り外したものを忘れないようにしてください。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。